

令和6年第1回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和6年3月12日(火) 午前9時30分
令和6年3月13日(水) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|-------------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 80分 | (1 井上正人、2 富田博巳、3 成田佳勉、4、磯部秋廣) |
| (2) 市友会 | 40分 | (5 今瀬和弘、6 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 40分 | (7 井上純一、8 蓑手純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 20分 | (9 加藤典子) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (10 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 井 上 正 人 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 木田城跡の活用と木田敬老の家について	1 木田城跡の看板が立てられたが、実際に当時どのような城が建っていたかのイメージ図や荒尾氏、池田輝政公、佐治家との関わり等、バーチャルで見ることができる取組について、市の考えを問う	(1) 二次元コードを看板に設置することで、木田城跡の様々な情報をスマートフォン等で得られるようにしてはどうか	
	2 木田敬老の家は老朽化が激しく、今後様々な修繕が必要となると思われるが、市の考えを問う	(1) これまでの木田敬老の家の修繕状況はどのようなか。また、今後修繕が必要となった場合の対応はどのように行うのか	
2 小中学校の教室環境の向上について	1 児童生徒1人1人へタブレット端末が配布され、学習や学校生活の様々な場面で活用されている中、以前にも増して教室内の照度の確保が必要と考えていることから、教室における照度の基準や一定の照度の確保を図ることにつながるLED照明の整備の考え方について、市の考えを問う	(1) 教室における照度について、検査状況や基準はどのようなか (2) LED照明の整備について、現在の状況及び今後の考え方はどのようなか	
3 災害時の避難対策について	1 令和6年元日に発生した能登半島地震のように、冬の避難所運営及び避難生活では、トイレ、キッチン(食事)、ベッド(就寝環境)に加えて、ウォーム(暖房)のそれぞれ頭文字をとったTKB+Wの対策が重要であると言われるが、市の考えを問う	(1) 災害時には断水でトイレが使用できなくなることもあるが、トイレ対策はどのようなか (2) 弁当等の冷たい食事が続く状況では、食欲減退による体力の低下や栄養失調が課題となるが、食事対策はどのようなか (3) 避難所の床で過ごすとき埃等を吸って肺炎にかかるリスクが高まるのが課題となるが、ベッド対策はどのようなか (4) 避難所が寒いと十分な睡眠をとることができず体力が低下し、低体温症等の様々な病気のリスクが高まるのが課題となるが、暖房対策はどのようなか	

	<p>2 能登半島地震の発災後に避難生活を送る被災者や在宅避難する住民にとって、水を確保することの重要性が再認識され、飲料水だけでなく、生活用水の確保にも困っていると聞いたが、市の現状と今後について問う</p>	<p>(1) 長期的な避難所生活や断水した地域が発生した場合に水の確保をどのように考えているか (2) 本市でも今後30年以内に発生する確率が70%から80%とされている南海トラフ地震に対して、水の備えをどのように進めていくのか</p>	
<p>4 世界蘭会議後の「ランの道」について</p>	<p>1 愛知教育大学の名誉教授である市橋正一先生が、台湾で開催された世界蘭会議2024で発表した「ランの道」は、地元有志によって維持管理しているが、今後の取組について市の考えを問う</p>	<p>(1) 世界蘭会議2024で発表された「ランの道」について、今後どのように魅力を向上させていくのか</p>	

質 問 者	2 富田博巳議員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 自然災害への対応について	1 令和6年1月に発生した能登半島地震を踏まえ、本市における自然災害への対応について問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本市が行った被災地への支援及び今後の支援はどのようなか (2) 自然災害への備えとして本市が締結している協定及び覚書はどのようなか (3) 災害備蓄品等の備蓄場所及び内容はどのようなか (4) 避難所等への水道管の耐震化の状況はどのようなか (5) 本市における液状化の被害想定及び液状化対策の取組状況はどのようなか (6) 避難所である市立小中学校について、児童生徒が学習で使用しているWi-Fiを災害時に一時的に避難者が利用できるようにすることを検討する考えはあるか 	
2 生活環境対策について	1 市内南部地区の降下ばいじんの状況及び臨海部企業による降下ばいじん対策等について問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) まなぶん横須賀、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民館における直近の降下ばいじん量及び各測定地点で差が生じていることに対する分析はどのようなか (2) 日本製鉄㈱名古屋製鉄所が予定している製鋼スラグ処理場の防風フェンスの整備内容について、市としてどのように把握しているか (3) 日本製鉄㈱名古屋製鉄所が建設を進めている熱延工場の進捗状況及び稼働後の影響について、市としてどのように把握しているか 	
3 創造の杜交流館周辺の環境整備について	1 創造の杜交流館周辺の道路及び街路灯等の整備の考えについて問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 尾張横須賀駅西ロータリー及び都市計画道路横須賀駅西通線の整備状況や今後の整備スケジュールはどのようなか (2) 創造の杜交流館から尾張横須賀駅西側までの街路灯の整備について、どのように考えているか (3) 創造の杜交流館周辺の道路の美装化について、どのように考えているか 	

質 問 者	3 成 田 佳 勉 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 保育現場の環境改善について	1 2023年12月22日の子ども家庭庁の「こども未来戦略」において、2024年度から保育士の配置基準が一部見直されることとなった。見直された配置基準に対応するために課題は多くあると考えるが、本市における今後の対応について問う	(1) 2024年度より、国における保育士の配置基準が見直されることとなったが、本市での対応はどのようになるのか (2) 本市においても配置基準の見直しに対応するため、保育士不足は大きな問題であると考えているが、迅速な保育士確保のための具体案はどのようなか	
	2 保育のICT化として保育業務支援システムが導入され半年ほど活用されてきた。保育業務支援システムは日々、利便性が高まってきているが、常に現場目線で改善を考えていく必要があると考えることから、現状と課題について問う	(1) 保育業務支援システムが導入されて半年ほど経つが、保育士や保護者からの声はどのようなか。また、導入後の実績や課題は何か (2) 保育士が使用する端末は、緊急時や日常的に活用するための利便性等を考慮すると、現状使用しているタブレット型の端末ではなく、スマートフォン等のいつでも身につけて持ち運べる形の方が利便性が高いと考えるがどうか	
2 保育料等の無償化制度の対象園について	1 2024年度から予定されている、本市独自の子育て支援である第2子の保育料等の無償化であるが、子育て支援を支える保育施設全体で利用できる必要があると考えることから、制度の対象について問う	(1) 第2子保育料等の無償化の対象となる施設の範囲はどのようなか。また、対象外となっている施設がある場合の理由は何か (2) 今後、対象外となっている施設について、制度の対象とする考えはあるか	

<p>3 誰一人取り残さない学校現場について</p>	<p>1 現在、小学校水泳授業民間施設活用等事業として、いくつかの小学校において民間プールが活用されている。しかしながら、活用されていない小学校もあり、天候による授業の有無や衛生面が心配される箇所もある等、懸念点もあることから、小学校水泳授業民間施設活用等事業について問う</p>	<p>(1) 全ての小学校において、民間施設を活用すべきと考えるが、今後の計画はどのようなか (2) 民間施設を活用する場合に、単純な距離ではなく交通の利便性を加味した割振が必要と考えるがどうか (3) 現在、民間施設を徒歩で利用している小学校があるが、昨今の気温上昇や低学年の体力を考慮し、送迎をする等、対策が必要と考えるがどうか</p>	
<p>4 家族で1日楽しめる都市公園づくりについて</p>	<p>1 現在、公園の維持管理費として年間約6億円の予算が使われている。民間活力を導入し、市が負担している維持管理費の割合を減らしながら、都市公園の質の向上や発展のために資金を投じていくことで、より満足度を高め、市民から愛される公園づくりができると考えることから、本市のPark-PFI事業の導入に向けた考えを問う</p>	<p>(1) Park-PFI事業の導入に対してどのように考えているか。また、具体的にどのように取り組んでいるか (2) 市民から必要とされる施設のうち民間活力としては、どのようなものが考えられるか (3) Park-PFI事業として、防災機能を意識した、災害時に仮設住宅等として活用できる、トレーラーでけん引するコンテナ型のグランピング施設等を導入することも必要と考えるがどうか</p>	
<p>5 災害・緊急時の情報発信について</p>	<p>1 災害・緊急時の情報伝達は円滑な救助活動や物資の搬送、保育園や小学校等への子どもの迎え、避難所の開設状況を知ること等において重要であると考えられる。全市民が素早く情報を受け、その後の安全で迅速な行動に繋げられるための情報発信について問う</p>	<p>(1) 現在、災害時に市民等が迅速かつ確実な避難行動をとるための防災情報を、素早く受け取ることができる手段はどのようなか (2) 大規模災害等での被災状況によっては、インターネットやSNSによる防災情報の取得が困難な状況も考えられるが、そのような状況に対する備えはどのようなか</p>	

<p>6 陣痛時のタクシー利用に対する補助について</p>	<p>1 現代社会において核家族化や共働きといった要因等から、出産に向けて近隣とのネットワークが作りにくい実態がみられる。陣痛時に周りの助けがなく、いざという時に不安を抱える女性も少なくない。妊婦が孤立しにくいネットワークづくりやサポート体制を市が作ることも必要であるが、いざという時の最後の砦として利用するための陣痛タクシーの補助について問う</p>	<p>(1) 現在、妊産婦に対する陣痛タクシーの制度についての周知方法はどのようなか (2) 実際にどのくらいの人が陣痛タクシーを利用したかを把握しているのか (3) 誰一人取り残さない社会をつくるために、妊婦が安心して出産に臨める環境整備として、陣痛タクシー利用補助制度が必要と考えるかどうか</p>	
-------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

質 問 者	4 磯 部 秋 廣 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 南海トラフ地震への対応について	1 昭和56年以前に建築された旧耐震基準の家屋の地震対策について問う	(1) 旧耐震基準の家屋の戸数及び家屋全体に占める割合はどのようか。また、耐震化に関する計画の中で、家屋全体の耐震化率の動向は当初に比べどうなったか (2) 旧耐震基準の家屋は、これまで以上に耐震診断や耐震改修工事が進められるよう対策を講じるべきと考えるがどうか	
	2 地震における危険箇所への対応について問う	(1) 名鉄聚楽園駅北側から新日鉄前駅周辺までの東側には急傾斜地があり、その下には鉄道と道路が平行している区間もあるため、一度崩れると長期間交通が遮断される可能性があるが、その危険性と現在の点検状況はどのようか (2) 天白川堤防が決壊すると甚大な被害が見込まれることから、現在進めている耐震化の進捗状況はどのようか	
2 複合化した地域密着型施設について	1 養父児童館、養父健康交流の家及び緑陽コミュニティセンターの利用状況等について問う	(1) 各施設について、複合化する前と複合化した後の利用者数の推移はどのようか。 (2) 各施設利用者からは、どのような意見や要望が挙げられているか。また、要望事項については、どのような対応を行っているのか	
3 協働のまちづくりへの取組について	1 市ではまちづくり基本条例で、市と市民の協働・共創を基本理念として定め、まちづくりを進めているが、取組状況等を含めたまちづくりにおける市の考えについて問う	(1) 協働を進めるうえで、職員の意識向上が不可欠であると考えますが、研修等の実施状況はどのようか (2) 近年、まちづくり協働推進事業の事業数が伸び悩んでいるが、課題をどのように認識しているか (3) 協働は市民活動団体だけでなく、コミュニティや町内会・自治会をはじめ企業、大学等の多様な主体と進めることで、地域をあげたまちづくりが進むと思われるが、今後の協働の進め方をどのように考えているのか	
4 土地の有効活用について	1 国道247号(都市計画道路高針東海線)南柴田交差点北側の道路脇にある水路用地の活用について問う	(1) 下水道工事に伴い、水路の一部を埋め立てたが、その経緯と埋め立て後の土地利用はどのようか (2) 将来、残りの水路の埋め立てを市で実施する考えはあるか	

質 問 者	5 今瀬和弘議員（市友会）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 小学校の教科担任制について	1 教科ごとに決められた担当教員によって授業を行う教科担任制について、本市の現状と今後の取組について問う	(1) 現在、本市では教科担任による授業をどのような教科で行っているのか (2) 教科担任制は、教員の負荷軽減に効果があると思われるが、どのようなメリットがあると考えるか (3) 教科担任制のデメリットや課題は何か。また、今後どのように取り組んでいくのか	
2 学校の教員不足の解消について	1 「35人学級」の推進による学級数の増加等で、非正規雇用の教員も含めて全国的に人手不足となっているが、本市の現状と今後の取組について問う	(1) 本市18小中学校において教員が未補充となっている学校はあるか。また、未補充である場合、どのように対応しているのか (2) 教員不足の解消や教員の負担軽減にいわゆる「ペーパーティーチャー」を呼び込む動きが各自治体で進んでいるが、本市ではどのように取り組んでいるのか。また、取組の中での課題は何か	
3 胃がんリスクの早期発見について	1 令和2年に国立がん研究センターが公表しているがん統計によると、胃がんは全国の部位別がん死亡数で、男女ともに上位となっている。胃がんの主な原因とされるピロリ菌の有無を調べる検査を充実させることで、胃がんの発症を減らし、医療費の削減にもつながると考えるが本市の考えについて問う	(1) 現在、実施しているピロリ菌の有無を調べる胃がんリスク検診の実施内容はどのようなか (2) 過去5年間の、胃がんリスク検診の受診者数及び二次検査の対象となった件数はどのようなか (3) 胃がんの発症を減らすためには、できるだけ多くの人が胃がんリスク検診を受け、ピロリ菌がいる場合は早期に除菌をするのが効果的であると考えるが、胃がんリスク検診の対象者を拡大する考えはどのようなか	

<p>4 住宅用火災警報器設置について</p>	<p>1 平成16年に消防法の改正が行われ、新築住宅をはじめ既存住宅も順次、住宅用火災警報器の設置の義務化が進み、現在では全国すべての住宅が対象となっているが、本市の現状と今後 の取組について問う</p>	<p>(1) 過去3年間の住宅火災発生件数はどのようなか (2) 本市における住宅用火災警報器の設置率は把握しているか。また、現状の設置率をどのように受け止めているか (3) 住宅用火災警報器の設置場所や取扱いについて注意すべき点はどのようなか (4) 住宅用火災警報器設置率向上策として本市の取組はどのようなか。また、購入費補助制度を新設し、広く情報発信する考えはどのようなか</p>	
-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

質 問 者	6 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 災害に強いまちをつくる取組について	1 平成12年9月11日から12日にかけて降り続いた記録的な大雨により、愛知県を中心に東海地方の広い範囲で甚大な被害が発生し、その水害は東海豪雨と呼ばれている。東海豪雨をはじめとする局地的豪雨による被害とその教訓について、本市の状況と考えを問う	(1) 市内で発生した人的及び住家被害はどのようなものなのか。また、浸水した最大水深はどこでどの程度が確認されているのか (2) 東海豪雨以降に進められた公共施設地下の雨水貯留施設の整備状況はどのようなものなのか。また、整備した理由及び被害軽減の効果をどのように考えているのか (3) 地下に整備された雨水貯留施設からの排水はどのように行われるのか (4) 市内に浸水位標識を設置する等、過去の浸水被害の状況等を現地で後世に伝える取組の必要性をどのように考えているのか	
	2 国の特別機関である地震調査研究推進本部は、かねてから進めている地震による被害の軽減に資する地震調査研究の評価に基づく広報として、令和3年3月に全国地震動予測地図を更新し2020年版を公表した。これまでの地震発生とこれからの地震予測に対する本市の状況と考えを問う	(1) これまでに市内で観測された最大震度とその時の被害状況をどのように把握しているのか。また、正式な観測記録等はなくとも、言い伝えのように存在する甚大な地震被害はどのようなものがあるのか (2) 地震調査研究推進本部が地震動予測地図を公表するに至った経緯をどのように把握しているのか (3) 全国地震動予測地図2020年版による本市の地震動予測をどのように把握しているのか。また、物的及び人的被害の想定はどのようなものなのか (4) 更新された地震動予測により得られた情報を本市の地震防災対策に生かす方策をどのように考えているのか	

	<p>3 各種災害を想定した訓練を行い、防災関係機関との連携強化と市民の実践的な災害訓練による災害活動技術の習得及び向上を図る市民総合防災訓練について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 名和コミュニティ地区において、最も対応が必要とされる災害はどのようなものが考えられるのか (2) 実施地区を市内12コミュニティの輪番制としている理由はどのようなものなのか (3) 実施地区ではないコミュニティの防災訓練の開催をどのように把握しているのか。また、市からの開催支援はどのように行われているのか (4) 実施地区を拡大した広域的な防災訓練を開催する必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>2 迅速な救急救命に対応する取組について</p>	<p>1 平成27年以降、増加と減少を示しながら年間4千件を超える高い水準が続いた救急出場件数は、令和4年以降は2年連続で年間5千件を超えるとともに過去最多を更新した。救急出場について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 救急出場件数が増加している要因をどのように考えているのか。また、事故種別のその他にはどのような事案が含まれているのか (2) 人口等が同規模の自治体消防組織と比較した場合の本市の救急出場件数はどのような状況なのか (3) 令和元年以降の救急搬送者が軽症と判断された割合の推移はどのような状況なのか (4) 救急要請の第一報を受ける指令員は、緊急性の度合いを判断する重要な役割を担っているが、通報内容を正確に理解する技量の向上策をどのように把握しているのか。また、指令員が救急要請を適正でないと判断した事案はどの程度発生しているのか (5) 選定療養費の徴収対象を入院に至らなかった救急搬送の軽症患者に広げる自治体があるが、選定療養費の徴収対象拡大が救急車の出場要請に及ぼす影響をどのように考えているのか</p>	
<p>3 緑と花に包まれたまちをつくる取組について</p>	<p>1 良好な自然環境を保護し、景観風致を維持する上で必要と認める地区や樹木を指定する保全地区及び保存樹木について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 令和5年2月時点の保全地区及び保存樹木の指定はどのような状況なのか (2) 保全地区及び保存樹木ともに減少の傾向にある理由をどのように把握しているのか (3) 指定された地区や樹木を市民に知らせる工夫はどのように行われているのか (4) 保護と維持の状況をどのように把握しているのか。また、保存や育成に係る費用の一部補助はどのように行われているのか</p>	

	<p>2 県内でも有数の生産量を誇り、地場産業と呼んでも過言ではない洋ランを広告し宣伝するとともに、花や緑を基軸とする生活環境を提供し市内の活性化を狙う東海フラワーショウの開催について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 令和元年度、4年度及び5年度の来場者数と即売会の効果をどのように把握しているのか (2) コロナ禍の期間を含めながら、開催場所や方法の変更を施してきたが、これまでの開催で得られた課題及び改善策はどのようなものがあるのか (3) 花き園芸経営の安定化及び人材育成へつなげる方策をどのように考えているのか</p>	
<p>4 愛護動物の適正な飼養を促す取組について</p>	<p>1 犬や猫をはじめとする愛護動物を飼養することは、命をいたわる気持ちや責任感が養われる等の利点がある一方で、飼養を誤ると近隣住民の生活環境の悪化等の問題につながる可能性もある。愛護動物の適正な飼養について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 令和6年1月時点の犬の登録頭数はどのような状況なのか。また、犬や猫を合わせて10頭以上飼養している者をどのように把握しているのか (2) 過去3年間の野犬の確認情報をどのように把握しているのか (3) 過去3年間の愛護動物を飼養する者に対して適正な飼養を促す助言等を行った実績はどのような状況なのか (4) 愛護動物を飼養する者が従うべき法令、県条例、飼育マナー等の周知や啓発はどのように行われているのか</p>	

質 問 者	7 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 災害関連死対策について	1 熊本地震では、死者273人の内、約8割が災害関連死で、その多くが高齢者や障がい者等、避難行動要支援者名簿の対象者である。平時より避難所への移動支援だけでなく多職種協働で避難後の医療・介護サポートも織り込んだ個別避難計画を作成することは災害関連死対策として極めて重要であると考え、本市の今後の取組について問う	(1) 本市の避難行動要支援者名簿の対象者は何人か。また、個別避難計画の作成率はどのくらいか (2) 在宅医療・福祉統合ネットワーク「東海へいしゅうくんネットワーク」の登録者数は何人か。また、活用状況はどのようなか (3) 「東海へいしゅうくんネットワーク」を活用して、多職種協働で移動支援だけでなく、避難後の医療・介護のサポートを織り込んだ個別避難計画の作成を推進すべきと考えるがどうか	
	2 災害関連死を防ぐには避難所のトイレ環境の整備は重要である。現在、一般社団法人助けあいジャパンでは、全国の自治体でトイレトレーラーを配備し、災害時に助け合う災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」を展開しているが、防災公園として整備中の緑陽公園への配備の考えを問う	(1) 緑陽公園に整備を予定しているオートキャンプ場にトイレトレーラーを配備して防災機能を強化してはどうか	

<p>2 次期都市計画マスタープランについて</p>	<p>1 次期都市計画マスタープランの将来都市構造におけるポイントは、約220ヘクタールの土地を市街化編入し、将来人口を20年後に12万人まで増やす目標を掲げ、企業アンケート結果に基づく新市街地候補ゾーンを示した点である。しかし、土地開発は緑・農地を減らし地球温暖化対策に逆行することになるが、ゼロカーボンシティ宣言都市としての本市の考えを問う</p>	<p>(1) パブリックコメントの実施結果はどのようなものであるか (2) 次期都市計画マスタープラン実現のためには、市街化候補地の農家の理解と協力が不可欠であるが、今後どのように進めるのか (3) 地球温暖化対策としてエコプロムナードの延伸を具体的に検討すべきと考えるがどうか (4) ゼロカーボンシティ宣言都市として、土地開発と地球温暖化対策のバランスをどのように考えているのか</p>	
<p>3 果樹振興の取組について</p>	<p>1 クラインガルテンのみかんが美味しいと好評で、令和5年は市外からも人が殺到し、みかん狩りが1日余りで終了したと聞いている。その人気を活かした本市の果樹振興の取組について問う</p>	<p>(1) 新品種「夕焼け姫」の試験栽培の進捗状況と今後の見通しはどのようなか (2) クラインガルテンのみかんが評判になった要因をどのように考えているのか (3) クラインガルテンのみかん園に隣接する民間の畑を市が借り上げて、耕作面積をさらに広げ、より多くの市民に楽しんでもらえるようにしてはどうか</p>	

質 問 者	8 蓑手 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 児童遊園・ちびっこ広場の課題について	1 自治会・町内会は本市から管理協力団体として児童遊園・ちびっこ広場の管理を一任されている。地域活動の担い手の高齢化等により、維持管理が厳しくなり、児童遊園・ちびっこ広場を無くして欲しい等の声が上がってきている。そこで現在の児童遊園とちびっこ広場の課題について問う	(1) 市内に70か所ある児童遊園・ちびっこ広場の過去10年間の廃止件数及び内訳はどのようなか (2) 現在の管理協力の範囲を縮小し、他の公園と同様に市の指定管理とする等、自治会・町内会の負担軽減に取り組む考えはあるか	
2 子育て支援の拡充について	1 発達の特徴を持つ子どもたちは、小学校への就学後に環境に適応できず、不登校になったり問題行動を起こしてしまったりすることが少なくない。発達の特徴に気付き適切な支援や療育につなげることができれば、多くの子どもたちが通常学級でも学べるようになると言われている。現在の就学時健診より前の5歳児健診によって、そうした特徴に気付き、適切な支援や療育につなげることができると考えるが、本市としての考えを問う	(1) 本市において、発達障がい等を早く発見し、必要な支援につなげるための取組の現状はどのようなか (2) 令和6年から5歳児健診を実施する自治体に、国の助成事業が始まった。5歳児健診の実施に対する本市の考えはどのようなか	

	<p>2 保護者の傷病、事故、出産等で子どもを緊急時に預けるサービスとして一時保育がある。本市の一時保育は満1歳からを対象としているため、民間の施設に空きがない場合、1歳未満の子どもを預けたい保護者は大変に苦慮する現状となっている。本市において一時保育の条件を拡充する考えについて問う</p>	<p>(1) 認可保育所等で1歳未満を預かる施設数は何件あるか。また、近隣市の公立保育園での一時保育の実施状況はどのようなか (2) 1歳未満の子どもを預ける場所が少ない状況を本市としてどのように認識しているか (3) 一時保育の利用基準を拡充した場合の課題はどのようなか。また、利用基準を拡充する考えはどうか</p>	
<p>3 アスベスト被害の現状について</p>	<p>1 本市における現在のアスベスト被害者の現状は公立西知多総合病院によると、良性石綿胸水と診断され、その後病状が進行し亡くなっている方が少なくない。事業所構内での石綿ばく露作業に従事した労働者が多いのも要因の一つと思われるが、過去にアスベストの使用された環境で労働していた方に対し、広報誌等でアスベストによる健康被害の情報を周知する等、アスベスト被害の発生防止と支援に向けた、本市の今後の取組等について問う</p>	<p>(1) 建築物解体等工事に対するアスベスト除去作業の指導、また民間建築物アスベスト使用実態調査は実施されているか (2) 民間既存建築物吹付けアスベスト等対策事業補助制度の申請状況はどのようなか (3) アスベストによる健康被害に対する公的な救済制度、支援体制はどのようなになっているか (4) アスベストによる健康被害への必要な支援が十分に行き届いていないのではないかと感じるが、被害者の救済、支援の拡充につながるよう、市民に対する制度の一層の周知・啓発を行う必要があると考えるがどうか</p>	

質 問 者	9 加藤典子議員（日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 ジェンダーの視点での災害対策について	1 令和6年早々、最大震度7を観測した能登半島地震が発生し、改めて南海トラフ地震が迫っている本市の災害対策を考える。令和2年に内閣府が、男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となるとして、その視点からのガイドラインを示した。男女の人権を尊重して、安心安全を確保することが必要であり、災害から受ける影響や男女のニーズの違いに配慮できることが重要であると考えているが、本市の姿勢を問う	(1) 内閣府が策定した災害対応力を強化する女性の視点の内容をどのように把握しているか (2) 本市の防災計画策定等の意思決定の場となる防災会議の女性委員の割合はどのようなか (3) 避難所運営マニュアル等はジェンダーの視点をより盛り込んだ内容にするべきと考えるがどうか	

	<p>2 避難所の設置について、災害時にはプライバシーを守ることが難しい環境にあり、家族に乳幼児、障がい者、要介護の高齢者等がいる等、多様な避難者の安心安全を十分に確保する必要がある。その中で、ジェンダーの視点から、避難所の管理・運営に女性が参画し、生活のルール作り等に女性の意見を反映させることが重要であり、また、要配慮者支援における女性のニーズへの対応や女性や子どもに対する暴力等の防止と安全確保も必要であると考え、市の考えを問う</p>	<p>(1) 避難所運営において、女性と男性双方にきめ細かく丁寧に対応できるよう、設置される運営協議会に女性参画も配慮するべきと考えるがどうか</p> <p>(2) トイレにおける衛生環境の悪化は生命に関わる問題となるが、女性や要配慮者等、あらゆる人が安心して安全にトイレを使用できるための対策はどのようなか</p> <p>(3) 避難所では、物干し場や更衣室、休憩スペース等を男女別に離して設置することで、昼夜問わず、安心して安全に利用できる環境を整備する必要があると考えるがどうか</p> <p>(4) 段ボール間仕切りや段ボールベッド等の防災備蓄用品の整備状況はどのようなか</p> <p>(5) 想定を超える避難者が避難所に来た場合の対応はどのようなか</p> <p>(6) 災害時には特に女性や子どもへの暴力等が起こるリスクが高まると言われていることから、女性や子どもへの暴力等を防止する対策についての考えはどのようなか</p> <p>(7) 災害発生時には災害対応と子育て・介護等、家庭との両立が求められる本市職員へ配慮が必要と考えるがどうか</p>	
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>2 利用しやすいらんらんバスについて</p>	<p>1 令和6年10月から再編されるらんらんバスのダイヤ・ルートについて、これまで市民アンケート等を実施し、令和5年度は5回の地域公共交通会議が開催され議論されてきた。よく利用されるスーパーや医療機関、公共施設等の停留所を増やし、これまでの3路線を5路線へ拡充し、デマンド交通の実証実験も予定している。しかし、昼間のバスのダイヤがこれまでとあまり変わらず、約2時間に1本では多くの市民が自動車がないと暮らしていけないと考えるが、市の考えを問う</p>	<p>(1) 多くの市民から、らんらんバスを1時間に1本走らせてほしいという要望があったが、どのように検討されてきたのか (2) 令和6年10月には新ダイヤ・ルートでの運行がスタートすると思うが、1時間に1本を実現することを視野に引き続き検討することを求めるがどうか</p>	
---------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

質 問 者	10 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 交通安全対策について	1 市内には、交通安全上、十分な対策が行われていない道路等が依然として残されているが、今後の交通安全対策の考え等について問う	(1) 電柱所有者が設置する電柱標識板について、市内各所に未設置の電柱があり、通行上の安全が確保されていない状況にあると考えるが、総点検を行う考えはどうか。また、現状を踏まえ、地域等からの依頼がない場合にも電柱所有者に対し、設置を求めていくべきと考えるが、市の考えはどうか (2) 通行者から視認されにくい信号機の箇所数及び過去5年間に改善された箇所数の把握状況はどうか。また、市民から要望があった場合、愛知県公安委員会に対し、信号機の更新等改善を求める考えはどうか (3) 雨天等の天候不良時には、車両の昼間点灯が非常に効果的であると考えますが、交通安全の啓発にあたり、積極的に運転者に昼間点灯を要請する考えはどうか (4) 高横須賀町城山地区において、地元自治会長からの要請を受け、以前より道路照明の設置を求めているが、設置しない理由はどうか。また、市民の安心安全を最優先に考えるべき本市の責任はどうか (5) 高横須賀町城山地区の道路照明の設置について、設置しないと決定するまでの経緯及び組織内の協議状況はどうか	
2 投票所について	1 旧文化センターは、選挙管理システムのための専用回線敷設等の課題により、期日前投票所設置ができないとのことであったが、創造の杜交流館が完成した後の期日前投票所設置の考えについて問う	(1) 創造の杜交流館は、多世代交流の場としても多くの市民の利用が見込まれている施設であるが、近年、様々な選挙で投票率が著しく低下していることから、新たに期日前投票所を設置し、投票率の向上を目指すべきと考えるがどうか	

	<p>2 投票所は民主主義の根幹をなす選挙を行う場所として、非常に重要なものであり、選挙管理委員会は投票所の指定について、協議・決定を行う機関である。期日前投票所の設置を含め、選挙管理委員会における投票所の指定に関わる協議内容等について問う</p>	<p>(1) 選挙管理委員会における期日前投票所の設置及び未だに実現していない中ノ池投票所の指定に関する協議内容等はいかに</p>	
<p>3 市職員の執務姿勢について</p>	<p>1 市役所は市民サービスを行う身近な公的施設であり、市民目線を意識した執務姿勢が求められていると考える。しかし、十分な市民への説明もないまま廃止が決定された温水プールや市民アンケートを取らずに決定された新駅名等、市民目線からかけ離れた対応が多数あると考えるため、職員教育の在り方について問う</p>	<p>(1) 市民目線を意識した市民サービスの実施について、職員教育の在り方はいかに。また、的確な市民サービスの実施に向けた職層ごとの研修の実施状況はいかに</p>	

<p>4 降下ばいじんについて</p>	<p>1 市民の転出の判断に大きな影響を与えていると考える降下ばいじんについて、市民の不安を払しょくし、安心して本市に居住できる環境整備が必要であると考えため、降下ばいじんの被害調査の実施等、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 市は、ばいじん公害に係る市民との意見交換会を開催してほしいという要望書に対し、開催しないと回答したが、その理由はいかに (2) 横須賀地区等、降下ばいじんの多い地区について、市は排出原因の一つである臨海部企業と合同でばいじん被害調査を実施する考えはいかに (3) 日本製鉄株の焼結煙突から有色煙が出ていることは、降下ばいじんが飛散しているのではないかと市民が不安に感じることに繋がっていると考えることから、有色煙対策を要請する考えはいかに (4) 名古屋港周辺における降下ばいじん被害の実態把握はしているか</p>	
<p>5 ごみ指定袋制度について</p>	<p>1 ごみ指定袋制度は、市の広報もあり、ほとんどの市民は理解を示しているとのことだが、不満を持っている市民も多くいると考えため、制度の見直しについて、本市の考えを問う</p>	<p>(1) ごみ指定袋制度を見直し、ごみ袋種別間の等量交換ができるようにすることは、多くの市民の不満解消に繋がると考えるが、実施の考えはいかに</p>	
<p>6 公家児童館の駐車場について</p>	<p>1 公家児童館を車で訪れる際、駐車場がなく困っている利用者が多数いると思われるが、今後の駐車場確保の考えについて問う</p>	<p>(1) 公家児童館の来館者向けに駐車場がないことの周知方法はいかに。また、今後の公家児童館の駐車場確保に向けた取組状況はいかに</p>	
<p>7 らんらんバスの左折時の一旦停止について</p>	<p>1 らんらんバスは、交差点における安全対策として、左折時に一旦停止を行っているとのことだが、後続車が一旦停止を予期しておらず、追突する事故が発生する等、結果的に車同士の事故に繋がる危険性があると考えが、市の考えについて問う</p>	<p>(1) 通行人のいないことが前提となる歩車分離信号が設置されている交差点で、らんらんバスが左折時に一旦停止することは、かえって危険であると考え。そこで、太田川駅東交差点のような歩車分離信号が設置されている交差点においては、左折時の一旦停止を行わない運用とするべきであると考えがいかに</p>	